

第2回

京都市ジュニアオーケストラ コンサート

アドバイザー／大友 直人

Kyoto Junior Orchestra Concert "The SECOND"



昨年デビューした“京都市ジュニアオーケストラ”
今年も10歳から22歳までのメンバー110名が
山下一史のタクトで“セカンド・ステージ”へ…
京都市交響楽団メンバーの指導により名曲「新世界」を熱演!!
その若さにあふれる演奏をお楽しみください!!

2007年1月28日(日)

14:00開演(13:00開場)

京都コンサートホール 大ホール

京都市左京区下鴨半木町1-26(地下鉄「北山駅」1番出口南へ徒歩3分)

Sunday, 28 January 2007 at 14:00

Kyoto Concert Hall Main Hall



指揮／山下一史
Kazufumi YAMASHITA

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、故森正の各氏に師事。82年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。84年桐

朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、86年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝する。

85年12月からヘルベルト・フォン・カラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントをつとめ、86年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急速、急病のカラヤンの代役として、ジーンズ姿のまま「第9」を指揮し、話題となった。以後、着実にヨーロッパでの実績を重ね、93年から98年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者をつとめた。日本国内では88年NHK交響楽団を指揮してデビュー。同交響楽団の副指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団の常任指揮者をつとめた。大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウスでは01年夏のモーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》公演の成功を機に、02年4月よりオペラハウス管弦楽団常任指揮者に選ばれた。05年秋には、03年に同オペラハウスで上演した松村禎三《沈黙》公演が新国立劇場より招待され、東京の音楽界にも衝撃を与えた。06年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。

■プログラム

ベートーヴェン：劇付随音楽「エグmont」序曲

L.v.Beethoven : Overture from 'Egmont'

チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」作品20 より

P.I.Tchaikovsky : The swan lake op.20

情景 ワルツ 四羽の白鳥の踊り ハンガリーの踊り グランド・フィナーレ

Scene, Waltz, Dance of swans, Hungarian Dance, Grand Finale

ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調「新世界より」作品95

A.Dvořák : Symphony No.9 'From the New World' op.95

■入場料 [全席自由] 一般 1,000円
22歳以下 500円

※京都コンサートホール会員・障害のある方(同伴者は1名限り)一般価格を1割引(900円)にて販売(要証明書)。
※未就学児の入場はお断りいたします。
[託児室をご利用ください。要予約 075-711-2296(但し、定員になり次第締め切り。)]

■チケット取り扱い：京都コンサートホール 075-711-3090
電子チケットびあ 0570-02-9990 [P-コード245-052]

指導／京都市交響楽団メンバー
Member of Kyoto Symphony Orchestra

1956年創立。日本で唯一の自治体直営のオーケストラとして、「市民文化の形成と青少年の情操の向上、住民の福利の増進に資する」という理念に基づき、たゆみない成長・発展を遂げてきた。1997年のヨーロッパ公演の成功や2000年から2001年にかけてのドイツのアルテ・ノヴァ社からのCD発売など、文化と芸術の都「京都」を世界に発信する演奏活動を行う一方で、小・中・高生を対象とした楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設等への訪問演奏などにも積極的に取り組んでいる。2006年に創立50周年を迎えた。